



互いに認め合い、理解し合える関係づくり

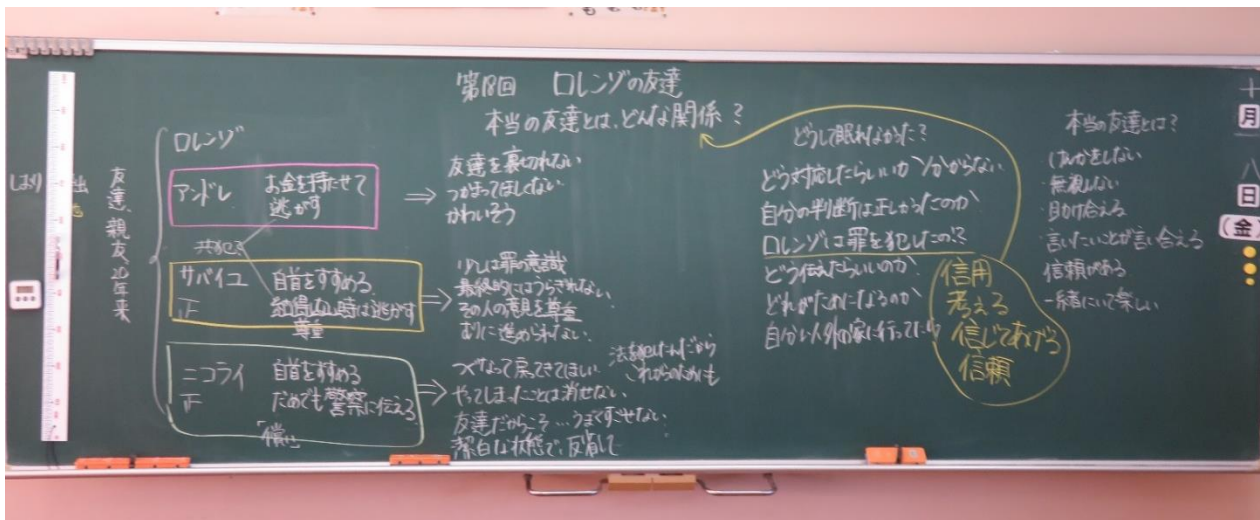
2学期も残りわずかとなりました。オンライン授業から始まり、運動会や校外学習など、多くの行事がありました。クラスや同学年の友達だけでなく異学年との関わりを通して、子供たちにとっては道徳的価値に触れる機会も多くあったと思います。

今回は運動会等で大活躍の6年生の道徳科の授業をのぞいてみたいと思います。子供たちは1日の多くの時間を友達と過ごしています。そのため、友達関係は最も重要な人間関係の一つであり、友達関係がよいか悪いかによって学校生活の充実が左右されるといえます。もちろん、日々の生活の中で友達とぶつかることもあると思いますが、誰もがよりよい友達関係を築くためお互いを理解しようとしているはずで、よい関係を築く上では、互いを認め合うこと、協力し合うこと、助け合うことなど信頼することが大切になります。

○「特別の教科 道徳」の様子

6年2組での『ロレンゾの友達(友情、信頼)』の授業の様子

- 友情、信頼の目標
- 低学年・・・友達と仲よくし、助け合うこと。
 - 中学年・・・友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。
 - 高学年・・・友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。



◎子供たちの振り返り

- ・本当の信頼は、うわさが本当かどうかよく考えて絶対に決めつけないで、相手を信じることだと思う。
- ・本当の友達は、信頼・信用するからこそ言いたいことが言えるので、本当に罪を犯したのか考えることが大切だと思った。